

## 日本国際保健医療学会市民公開講座「日本発の専門家人材育成」

日本国際保健医療学会西日本地方会大会長  
岡山大学大学院環境学研究科・国際保健学分野  
ユネスコチェアプログラム  
山本秀樹



### はじめに

現在、国際的に活躍できる日本人の国際保健専門家は十分でない。日本国際保健医療学会はこのような課題を解決するために、1986年に設立されこれまで国際保健分野の人材育成・研究を行ってきたが、このたび中国・四国地方で初めて開催されることとなった。

今年行われる、「洞爺湖サミット」でも地球温暖化による熱帯感染症対策など、環境と健康が重点項目となっている。その、専門家人材育成に関して日本人の強みを如何に生かすかと言うことが課題である。岡山大学も研究教育機関として岡山県が国際貢献条例を制定していることや岡山市域がESD（持続可能な開発のための教育）のモデル地域に世界で最初に指定されているという地域性を活用して人材育成に取り組んでいる。今回、学会と大学が協力して、岡山の地域特性に関連して「日本発の専門家人材育成」というテーマで、学会の会員以外の方も参加できる市民公開講座を開催する。

今回の公開講座では、公民館をモデルにした地域づくりの活動（大安氏）、岡山県のO-157対策に関わった後、WHOの本部（ジュネーブ）で鳥インフルエンザ対策に従事した経験（遠藤氏）、日本住血吸虫（岡山大学で桂田博士により103年前に発見された）を撲滅した経験（石井氏）等を紹介した後、本学会の学生会による人材育成に関するパネルディスカッションを行う。

### 学会概要（プログラム）

日時：2008年3月1日（土曜日） 午前10時から午後5時30分

場所：岡山大学津島キャンパス

岡山大学50周年記念会館(岡山市津島中1-1-1)

大会長：山本秀樹 岡山大学大学院環境学研究科 准教授

主催：日本国際保健医療学会西日本地方会

共催：岡山大学ユネスコチェアプログラム「持続可能な開発のための教育と研究」、岡山大学「ユニット教育による国際保健実践の人材育成」プログラム、日本国際保健医療学会学生会

学会参加費：500円（公開講座参加者は資料代として500円）

HP: <http://west.jaih.jp/ja/>

または [http://www.okayama-u.ac.jp/user/ges/int\\_health/jaih\\_w26/index.html](http://www.okayama-u.ac.jp/user/ges/int_health/jaih_w26/index.html)

#### <プログラム>

10:00	-	12:05	一般演題
12:05	-	13:15	昼食・休憩 西日本地方会世話人会
13:15	-	17:30	市民公開講座（岡山大学ユネスコチェアプログラム等と共催） 「日本発の専門家人材育成について」 （第一部）
13:15	-	14:15	基調講演 アジアにおけるKominkanと保健・教育 ユネスコ・アジア太平洋事務所 大安喜一 識字専門官

座長：溝田勉 長崎大学教授  
(元 UNESCO 職員、UNICEF 駐日事務所副代表)

\* 乳児死亡率と母親の識字率が大いに関係することは、国際保健の分野ではよく知られている。国連教育文化科学機関（ユネスコ）が行っている識字教育等の活動について紹介してもらおう。また、近年アジア各国が地域での識字教育や社会教育を地域おこしと兼ねて実施しているが、我が国の公民館を参考にしている。日本で生まれ、世界で活用されているものとして母子手帳や交番(Koban)があるが、アジア各国が我が国の公民館(Kominkan)に期待する役割について、岡山大学ユネスコチェアプログラム協力して2007年10月に実施した「公民館サミット」の成果も交えて紹介してもらおう予定である。

(第二部)

14:30 - 15:20 教育講演(1)  
「地球規模の感染症対策と人材育成」  
遠藤弘良 国際医療センタ国際協力局長、  
元岡山県保健福祉部長  
座長：岡山大学教授・土居弘幸 (元 WHO)

15:20 - 16:10 教育講演(2)  
「日本住血吸虫の歴史から学ぶ風土病対策」  
石井明 自治医大名誉教授、元岡山大学教授  
日本国際保健医療学会 理事長  
座長：岡山大名誉教授・岡田茂

(第三部)

16:20 - 17:30 パネルディスカッション  
「学生時代の過ごし方！今こそユースの活動の意義を問う！」  
パネリスト：溝田勉（長崎大学熱帯医学研究所教授）、  
田中政宏（大阪府立成人病センター課長・医師）、河野朋子（岡山大学  
大学院環境学研究科博士前期課程、看護師・保健師、NGO ジャパンハ  
ート）、塩田勉（筑波大学医学専門学群5年生）  
17:30 閉会

参加者

学会員（医療従事者、研究者）、学生、一般市民等

期待される成果

今回の大会を通じて、日本国際保健医療学会と岡山大学は岡山で行われている地域ぐるみの国際貢献活動と、「日本人の強みを生かした人材育成」の重要性について岡山大学の取り組み（ユネスコチェアプログラム、ユニット教育プログラム等）を紹介し、高等教育機関と地域が連携して専門家育成を行うことの重要性を提言し、その結果地域発の人材育成の重要性について認識が深まることが期待される。

お問い合わせ先  
岡山大学大学院環境学研究科 国際保健学分野  
〒700-8530 岡山市津島中3-1-1  
TEL/FAX : 086-251-8911,8925 (担当：山本秀樹)  
E-mail: hidekiy@md.okayama-u.ac.jp  
[http://www.okayama-u.ac.jp/user/ges/int\\_health/jaih\\_w26/index.html](http://www.okayama-u.ac.jp/user/ges/int_health/jaih_w26/index.html)

一般演題プログラム

会場A		1階 多目的ホール						
番号	開始時刻	終了時刻	演題名	所属	演者	セッション名称	座長	
1	10:00 -	10:12	Health System and Health Status in Cambodia	Ritsumeikan Asia Pacific University	Lor Vann Thary and Susumu Tanimura	地域保健・保健政策(カンボジア)	菅沼成文	
2	10:12 -	10:24	カンボジアにおけるHIV/AIDS検査・ARTの現状と課題	名古屋大学医学部	栃木宏介	地域保健・保健政策(カンボジア)	菅沼成文	
3	10:24 -	10:36	Social marketing of HIV Prevention in Cambodia	Ritsumeikan Asia Pacific University	Vong Sreytouch and Susumu Tanimura	地域保健・保健政策(カンボジア)	菅沼成文	
4	10:36 -	10:48	カンボジアにおける結核患者の発見・治療の現状と課題	名古屋大学医学部	浅井一輝	地域保健・保健政策(カンボジア)	菅沼成文	
5	10:48 -	11:00	カンボジア農村部における妊産婦検診及び分娩時のケアの現状と課題	名古屋大学医学部	磯野正晶	地域保健・保健政策(カンボジア)	菅沼成文	
休憩・座長交代(5分)								
6	11:05 -	11:17	ミャンマーにおける子宮癌の疫学とスクリーニングの意義について	岡山大学大学院環境学研究科国際保健学分野	河野 朋子	地域保健・人材育成	青山温子	
7	11:17 -	11:29	コンゴ民主共和国の医療保健体制と衛生状態	高知大学医学部環境医学	Ngatu Nlandu	地域保健・人材育成	青山温子	
8	11:29 -	11:41	Survey on the status of mothers and community to be related to children's mortality in a village of Zambia	筑波大学 医学専門学群 医学類 5年	塩田勉	地域保健・人材育成	青山温子	
9	11:41 -	11:53	医学部学生における国際保健分野に対する意識調査	長崎大学熱帯医学研究所 社会環境医学分野	依田 健志	地域保健・人材育成	青山温子	
10	11:53 -	12:05	UNESCO-APEID国際会議に参加して	筑波大学医学専門学群医学類	山岡祐衣	地域保健・人材育成	青山温子	
会場B		2階 大会議室						
番号	開始時刻	終了時刻	演題名	所属	演者	セッション名称	座長	
1	10:00 -	10:12	小学生のための食教育プログラムにおける食生態アセスメントの枠組み開発-トンガ王国首都の事例-	名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科食生態学研究室	安達内美子	保健政策(栄養・非感染性疾病)	土居弘幸	
2	10:12 -	10:24	南太平洋島嶼国における慢性疾患の展望	岡山大学大学院環境学研究科	築地 淳	保健政策(栄養・非感染性疾病)	土居弘幸	
3	10:24 -	10:36	高齢化問題と国際協力-チリ国での介護保険導入検討の経験から	筑波大学人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻ヘルスサービスリサーチ分野	田宮菜奈子	保健政策(栄養・非感染性疾病)	土居弘幸	
休憩・座長交代(5分)								
4	10:41 -	10:53	ホンジュラス共和国テラ市における妊産婦に関する活動前調査と妊婦学級活動報告	兵庫県立大学大学院看護学研究科 国際地域看護学専攻	山本裕子	地域保健・リプロダクティブヘルス	谷村晋	
5	10:53 -	11:05	Health Status and Health System in Lao PDR	Ritsumeikan Asia Pacific University	Viengmany Bounkham and Susumu Tanimura	地域保健・リプロダクティブヘルス	谷村晋	
6	11:05 -	11:17	Higher rates of rickets among Uzbek children raised in cradle	Ritsumeikan Asia Pacific University	Natalya Shin, Nader Ghotbi, and Susumu Tanimura	地域保健・リプロダクティブヘルス	谷村晋	
休憩・座長交代(5分)								
7	11:22 -	11:34	国際医療における創傷被覆材の有用性について	海を越える看護団	原野美歩	災害緊急救援・外傷	中田敬司	
8	11:34 -	11:46	水害時における災害モニタリングへの衛星データ利用	長崎大学熱帯医学研究所 社会環境分野	後藤健介	災害緊急救援・外傷	中田敬司	
9	11:46 -	11:58	パキスタン洪水における陸地観測技術衛星「だいち(ALOS)」利用の試み - 緊急救援活動の視点より	岡山大学大学院環境学研究科国際保健学分野	鹿嶋小緒里	災害緊急救援・外傷	中田敬司	